

2012年5月～2022年8月の間に 当科において腎凍結療法を受けられた方へ

－「転移性腎腫瘍に対する経皮的凍結療法の後方視的検討」へご協力をお願い－

研究機関名 岡山大学病院

研究機関長 前田 嘉信

研究責任者	岡山大学病院	放射線科	助教	川端 隆寛
研究分担者	岡山大学学術研究院医歯薬学域	放射線医学	教授	平木 隆夫
	岡山大学学術研究院保健学域	放射線技術科学	教授	生口 俊浩
	岡山大学学術研究院医歯薬学域	放射線医学	准教授	松井 裕輔
	岡山大学病院	放射線科	助教	富田 晃司
	岡山大学病院	放射線科	助教	宇賀 真由
	岡山大学病院	放射線科	助教	馬越 紀行
	岡山大学病院	放射線科	助教	宗友 一晃
	岡山大学病院	放射線科	医員	永田 翔馬

1. 研究の概要

1) 研究の背景および目的

腎凍結療法は、腎細胞癌の治療法として手術と比べて低侵襲で繰り返し施行することができ、近年、日本で普及してきています。腎細胞癌に対する凍結療法は、多くの報告により有効であることが示されています。しかし、腎臓の転移性腫瘍に対して凍結療法を行ったときの成績についてははっきりわかりません。

この研究は、岡山大学病院放射線科において、転移性腎腫瘍に対して凍結療法を行った方を対象とし、腫瘍の再発の有無や生存の有無などの治療成績を調べることを目的として行われます。

2) 予想される医学上の貢献及び研究の意義

この研究により、転移性腎腫瘍に対する凍結療法の治療効果が明らかになり、腎転移の治療方法を検討する際に役に立つ知見が得られる可能性があります。

2. 研究の方法

1) 研究対象者

2012年5月1日から2022年8月31日の間に岡山大学病院放射線科において、腎腫瘍に対して凍結療法を受けられた患者さんのうち、治療病変が腎細胞癌以外の転移性腎腫瘍であり、MRI または造影CTで半年以上フォローされた方約10名を研究対象とします。

2) 研究期間

倫理委員会承認後～2024年3月31日

3) 研究方法

岡山大学病院放射線科のデータベースより2012年5月～2022年8月に施行した腎凍結療法の患者さんを抽出し、治療病変が腎細胞癌以外の転移性腎腫瘍であった方を選定します。その後、治療成績について後方視的に検討を行います。

4) 使用する情報

この研究に使用する情報として、カルテなどから以下の情報を抽出し使用させていただきますが、氏名、生年月日などのあなたを直ちに特定できる情報は削除し使用します。また、あなたの情報などが漏洩しないようプライバシーの保護には細心の注意を払います。

- ・年齢、性別、身長、体重、既往歴、血液生化学検査
- ・腫瘍の大きさ、部位、原発巣の種類、過去治療歴
- ・治療手技（凍結療法の内容、併用療法など）や治療後経過（局所再発の有無、生存の有無など）

5) 情報の保存、二次利用

この研究に使用した情報は、研究の中止または研究終了後5年間、岡山大学病院放射線科医局内で保存させていただきます。電子情報の場合はパスワード等で制御されたコンピューターに保存し、その他の情報は施錠可能な保管庫に保存します。なお、保存した情報を用いて新たな研究を行う際は、倫理委員会にて承認を得ます。

6) 研究計画書および個人情報の開示

あなたまたはご家族等（父母（親権者）、配偶者、成人の子又は兄弟姉妹等、後見人、補佐人）のご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び研究の独創性の保護に支障がない範囲内で、この研究の計画および研究の方法に関する資料を入手または閲覧することが出来ますのでお申出下さい。また、この研究におけるあなたの個人情報等の開示はあなたまたはご家族等が希望される場合に行います。

この研究の結果は氏名、生年月日などあなたを直ちに特定できる情報を分からない形にして学会、論文で発表しますのでご了承下さい。

この研究にご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。また、あなたの情報が研究に使用されることについて、あなたにご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申し出ください。この場合も診療など病院サービスにおいて患者の皆様に不利益が生じることはありません。

<問い合わせ・連絡先>

岡山大学病院放射線科

所属：助教 氏名：川端 隆寛

電話：086-235-7313（平日：9時00分～17時00分）

ファックス：086-235-7316